

(様式第3号)

令和 元 年 12 月 13 日

登米市議会議員 及川 昌憲 殿

会派又は議員名

伊藤 栄 

調 査 報 告 書

○ 調査の概要は次のとおりであります。

記

1. 調査目的 2020東京五輪ボト競技事前合宿地としての支援体制
2. 調査先 秋田県大湯村教育委員会
3. 調査期間 令和 元 年 12 月 3 日から  
令和 年 12 月 4 日まで 2 日間
- 4. 調査の経過と結果並びに所感
5. 添付書類

## 政務調査報告書

- [目的] 2020東京五輪ボート競技事前合宿支援体制について
- [日時] 令和元年12月3日～4日（9時～10時30分まで）
- [行先] 秋田県大潟村教育委員会
- [対応職員] 大潟村教育委員会  
教育次長 石川 歳男、主査 小林 豊、主任 平ノ内 亮
- [派遣人員] 伊藤 栄
- [経費] 36,340円

|          |           |                |          |
|----------|-----------|----------------|----------|
| (内訳) 高速代 | 5,320×2   | 〈往復〉           | =10,640円 |
| 宿泊代      |           |                | 11,150円  |
| お土産代     |           |                | 2,000円   |
| 車賃       | 251.4km×2 | (往復) ×25円 (km) | =12,550円 |

### [調査の概要]

大潟村は、2017年度にデンマークのボート競技事前合宿が決定した村である。事前合宿期間は6月23日からの一か月間。クルー数は最大5クルーで20人の選手を受け入れる。

ボート競技事前合宿受け入れ先進地としての合宿支援事業のあり方について

- 主に ①受け入れに向けた気運の醸成  
②支援推進体制と取り組み  
③地域におけるデンマークとの交流 について調査をした。

### [所感]

2017年度に、村長が自らデンマークに行きトップセールスをし2020東京オリンピックボート競技の事前合宿誘致に成功した村である。30年度からは村民の気運の醸成でオリンピック教室、デンマーク企画展、オリンピックによるボート教室の開催、令和に入り宿泊するホテルにユニフォームの展示、公民館にデンマークコーナーの設置、PRのぼり、今後は公式ライセンス商品の購入や応援ツアーの企画等。事前合宿を誘致した村ならではの支援事業である。

登米市は6月にポーランドの事前合宿決定後約6か月経過をしましたが、市長が答礼の意味でポーランドに表敬訪問した予算だけが計上されているだけである。オリンピックが8ヶ月後に迫り本市の支援は限りがありますが、メダルを獲得するために市民と市役所職員が一丸となって応援することが重要である。

まずは、市役所に事前合宿の歓迎の横断幕を掲げることから始め、具体的な支援事業として新年度当初予算に計上を期待したい。

【行政視察行程】

12月3日(火)

14:00発 自宅

↓

若柳金成IC

↓

北上JCT

↓

琴丘森岳IC

↓

18:00着 大潟村(宿泊)

12月4日(水)

8:00発 宿泊ホテル

8:30着 大潟村役場

9:00 視察研修

~10:30 「2020東京オリンピック合宿支援体制と交流について」

12:00発 大潟村

↓

琴丘森岳IC

↓

北上JCT

↓

若柳金成IC

↓

16:00着 自宅

(様式第3号)

令和2年2月10日

登米市議会議長 及川 昌憲 殿

議員  
伊藤 栄



調 査 報 告 書

調査の概要は次の通りであります。

1. 調査目的

①鹿児島県日置市 ゆす村農園(有) アボガドなど南国フルーツの栽培について

アボガドは、森のバターと呼ばれ、温暖な地域において路地栽培もできるトロピカルなフルーツである。また、ハウスでの栽培も容易である。おもに九州や西日本などで栽培されている。

登米市の農業においては、若い世代の新規就農者の確保・育成も課題の一つとなっている。また、果樹、園芸においては、新たな作物の生産に取り組むことが必要であるとする。

これらの解決に向けての方策として、アボガドなど南国フルーツ栽培の取り組みの現状や東日本で栽培する上での課題などについて調査する。

②宮崎県日南市 移住促進空き家再生推進事業について

日南市では伝統的建造物群保存地区を有する城下町の景観を維持し、観光地としての魅力を更に向上させるため、空き家の利活用などを中心としたまちなみ再生を行っている。

この取り組みを視察することで、登米市においても城下町登米(とよま)などのまちなみや観光地の再生を目的とした空き家の利活用を提案するために調査する。

2. 調査先 1月29日 ①鹿児島県日置市 ゆす村農園(有)

1月30日 ②宮崎県日南市

3. 調査期間 1月29日～1月31日

4. 調査の経過と結果並びに所見

別途添付

5. 添付書類 調査先の説明資料



## 調査報告書

日時 令和2年1月29日(水) 14:05~15:30  
調査地 鹿児島県日置市ゆす村農園有限会社  
目的 アボカドなど南国フルーツの栽培について  
説明者 ゆす村農園有限会社取締役 [REDACTED]

### 調査内容

#### ◎ゆす村農園有限会社

- ・2005年に現在、取締役の[REDACTED]が鹿児島県立短期大学2年生の時に設立した。
- ・アボカド、マンゴー、アテモヤなど熱帯果樹の遺伝資源の収集・保存と苗木や果実の生産に取り組む。現在、ゆす村農園ホームページにて数多くの品種を発売中。
- ・指宿市の耕作放棄地を再生して、アボカドの路地栽培にも取り組んでいる。

#### ◎南国フルーツの栽培について

- ・1年物の苗木であれば、3~4年後には収穫できるようになる。
- ・収穫できる条件として、木が大きくなる必要がある。
- ・鉢植えではなく、地植えすることで収穫が早まる。
- ・葉を増やすことが実を増やすことにつながる。
- ・直径1m(樹木の外周)で何年か収穫し、その後、土を寄せて土増しをして、直径2mぐらい(樹木の外周)で10~20年、収穫することができる。
- ・1本の木で30~40年は収穫可能である。
- ・関東以北はハウス栽培が条件となる。ただし、加温が必要。
- ・東北地方においても暖かいハウスなど、条件が揃えば通年栽培は可能である。
- ・東北地方でも少加温で大丈夫な品種は、いくつかある。

#### ◎アボカドの現状について

- ・果実の中で栄養価の高さが世界一である。
- ・ビタミン、ミネラルが豊富である。
- ・コレステロールを溶かしてくれる善玉の不飽和脂肪酸がたっぷり含まれている。
- ・カロリーはバナナの2倍、「森のバター」という愛称で呼ばれている。
- ・消費量が急激に増えており、国内の年間消費額が129億円となっている。
- ・これだけの需要がありながら、99%以上が輸入でまかなわれている。
- ・国内での栽培も可能である。

#### ◎アボカドの栽培について

- ・水はけの良い土壌を好む。土壌は弱酸性。
- ・樹形(木の高さ)は低くても構わない。収穫しやすい高さに調整すること。

- 1反分 (1000 m<sup>2</sup>) に苗を 40 本植える。
- 1本の成木 (10年以上) から 100~200個収穫できる。
- 現在、夫婦 2人で 2反分を栽培している農家で、1個当たり 1,200円~1,500円として、年収は約 800万円位である。
- 将来、国内産の需要が高まり、1個 250円前後になった場合に、夫婦 2人で栽培して 800万円の収入を確保するには、栽培面積が 5~8反分となると試算される。

C

C

① ゆすむら農園（有）

〈所感〉

ゆすむら農園の代表は平成17年6月、短大生時代に法人化をしたパイオニア精神にあふれた女性です。教授から熱帯果樹の多様性を知り、面白さに触れ主軸はトロピカルフルーツの中でも、アボガド、マンゴーを含む10品目他約100品種の苗を生産している。

今回の研修では主にアボガドを中心に話を聴いたのですが、日本人のなじみであるバナナ以上に高カロリーで「森のバター」といわれており、和洋食料理のどちらにも合う南国のフルーツです。またスポーツ選手でも特に中・高生に好まれ、ビタミン、ミネラルが豊富でコレステロールを溶かしてくれる善玉の不飽和脂肪酸も多くふくまれています。しかし、青果店に山ほど置かれているアボガドはすべて外国産（99.9パーセント）であり、国産は市場に出回っておらず農家の自家販売のみで高価格です。

国内では九州、四国地方で僅かに栽培されているだけでありますが、近年、温暖化の影響で徐々に本州にも栽培農家が増えているとのことです。

本市の米山町ではパッションフルーツが20年前からハウス栽培されていることから、南国フルーツ栽培は不可能ではありません。ただ冬季の耐寒温度に気を付け、氷点下にならないように管理をすれば可能とのことです。

耐寒性の品種もあることから、空きビニールハウスを利用して栽培を試み特産品を目指したい。以上

## 調査報告書

日時 令和2年1月30日(木) 14:00~15:30  
調査地 宮崎県日南市国際交流センター小村記念館  
目的 移住促進空き家再生推進事業について  
説明者 日南市総合政策部総合戦略課  
地域イノベーションリーダー 金丸 裕一 氏  
地域政策係 主査 竹下 光也 氏  
日南市議会事務局  
総務議事係 主任主事 中山 綾香 氏

### 調査内容

#### ◎日南市の概要

- ・人口 約51,000人
- ・面積 536.11 km<sup>2</sup>
- 都市計画区域 49.59 km<sup>2</sup> (日南・南郷)
- ・用途区域 10.72 km<sup>2</sup> ( // )
- ・日南市は、平成22年から8年連続で「スイトピー出荷量」が日本一。
- ・宮崎県は、平成4年から27年連続で「スギ丸太生産量」が日本一。オビスギが有名
- ・日南市は、平成18年から12連続で「カツオ一本釣り漁獲量」が日本一。
- ・日南市は、広島東洋カープ、埼玉西武ライオンズのキャンプ地となっている。

#### ◎伊東家5万1千石の城下町「飫肥(おび)」

- ・現在も城下町の中に武家屋敷が点在(保存)しており、1977年には九州・沖縄地方で初の重要伝統的建造物群保存地区として、文化庁から選定された。
- ・その美しいまちなみから、「九州の小京都」とも称されている。
- ・飫肥城は、「日本の名城100選」に選ばれている。
- 飫肥地区には、年間約20万人の観光客が訪れている。

#### ◎景観計画について

##### ○策定経過について

- ・平成22年12月から23年10月まで、景観まちづくりワークショップを5回開催。
- ・平成24年2月 H23年度第1回日南市景観協議会
- ・平成24年2月~3月 市民パブリックコメント実施
- ・平成24年3月 地元説明会
- ・平成24年3月 H23年度第2回日南市景観協議会
- ・平成25年2月 H24年度第1回日南市景観協議会
- ・平成25年12月 H25年度第1回日南市都市計画審議会
- ・平成26年4月1日 城下町飫肥景観計画 策定

##### ○城下町飫肥景観計画策定の目的

- ・歴史的景観の保全と活用とともに、景観特性を活かした良好な景観まちづくりの推進。



## ◎飫肥城下町の再生

### ○再興の向けての課題

1. 地区住民の高齢化、空き家の急増
2. 飫肥城由緒施設入館者の激減
3. 城下町周辺の文化遺産の未活用

●由緒施設等の新たな集客資源としての利活用と、それを目的とする交流人口の増加を目指すことが重要。

○由緒施設等カルテ（各施設の損傷・劣化・雨漏りなど、現在の状態を診断し、今後必要な建物の修繕費及び維持・管理費を算出）

- ・今後 20 年間で修繕費が約 25 億円、維持管理費が約 15 億円、合計で約 40 億円の費用が必要と算出。
- ・市として、全ての施設の改修は、財政的に困難。

### ○民間事業者の活用事例

- ・市及び個人所有の物件に対して民間事業者が資金調達し、飫肥に投資。宿泊施設として再生させ、着実に実績を上げている。さらに、宿泊日数の約 4 割は海外（香港、台湾など）からの観光客となっている。
- ・IT 起業が築 140 年の古民家を購入し、オフィスへ、リノベーションした。雇用人数は 7 名（平成 30 年 4 月現在）
- ・日南市内の次世代経営者が築 130 年の古民家を個人で購入し飲食店へ、リノベーションした。雇用人数は 8 名（平成 30 年 4 月現在）

○市所有物件を民間事業者が活用した場合の市としてのメリットについて（例）

#### 旧小鹿倉家

- ・業種は旅館。運営は、京都で旅館業を営む企業。

#### ○としてのメリット

- ・民間投資により、今後想定される建物の大規模な修繕費については、市の負担がゼロになった。
- ・これまで、庭園管理や清掃等として、年間約 110 万円の維持管理費がかかっていたが、民間企業に貸し出すことで、年間約 150 万円の賃料収入となる。

○民間活用可能な由緒施設等を精査し、施設を分類

A 行政が直接運営 B 行政と民間で協同 C 民間活用を想定

○その他、文化財等を活用した取り組み事例

- ・有形文化財を舞台としたアート展示
- ・飫肥城内での市場（マルシェ）
- ・文化財での非日常的な食事会
- ・飫肥城内でのピアノコンサート

## ② 移住定住空き家再生事業

### 〈所感〉

日南市飫肥（おび）町は1977年には九州・沖縄地方で初の重要伝統的建造群保存地区として文化庁より選定を受けました。街並みから「九州の小京都」と称されており、飫肥城は「日本の名城100選」にも選ばれています。

コンセプトは山々と清流に囲まれ、歴史・文化の香りが漂い、石垣が残る城下町。伊東家5万1千石の城下町。まちづくり重点区域（97ha.）は当然建築物の高さ、工作物の高さ、位置・色彩が定められています。江戸時代の武家屋敷、町人町、寺町などの街並みが現存しています。しかし武家屋敷等の子孫は高等教育を受けて飫肥には戻らず、空き家となっていることから文化財の活用を京都の民間事業者が、商店街活性化・観光消費創出事業（経済産業省）を活用し、自己資金と併せて投資を宿泊施設に。また、宮崎市内のIT企業は古民家を購入しオフィスにリノベーション。そして市内の若手経営者が古民家を購入し飲食店にリノベーション等。これら3件とも市の支援はなく国の補助金と自己資金のみです。

これまで重要伝統的建造群保存地区であり、景観上空き家の庭園管理や清掃等は市で行ってきましたが民間に貸し出すことにより、賃料収入が入ることになりました。

宮崎市県日南市といえ、プロ野球のジャイアンツを含む5球団、サッカーJリーグは10チーム、都内の多くの大学サッカーチームが冬期間にキャンプをし、報道関係者や観光客でホテルが飽和状態といわれています。その町にある飫肥の重伝建地域での文化財を活かした空き家対策は、民間事業者の発想であり「みやぎの明治村とよま」でも考えられる。以上

# 令和2年1月政務調査行程表

実施日 1月29日(水) ~ 1月31日(金)

1日目 1月29日(水)

登米総合支所出発 5:00 車乗り合わせ

↓

仙台空港着 6:30

仙台空港発 7:35 (ANA1276便)

↓

福岡空港着 9:50

福岡空港 (地下鉄)

↓

博多駅

博多駅発 10:39 (新幹線さくら547号)

↓

鹿児島中央駅着 12:04

鹿児島中央駅発 12:29 (電車)

↓

伊集院駅(日置市)着 12:47

伊集院駅 (タクシー)

↓

ゆす村農園(日置市)着 14:00

ゆす村農園 14:05~15:30 政務調査

ゆす村農園 (タクシー)

↓

伊集院駅

伊集院駅発 16:35 (電車)

↓

鹿児島中央駅着 16:53

↓

ホテル 「ホテルレクストン鹿児島」

2日目 1月30日 (木)

ホテル出発 8:20 (タクシー)  
↓  
鹿児島中央駅着  
  
鹿児島中央駅発 8:49 (きりしま6号)  
↓  
南宮崎駅着 10:51  
  
南宮崎駅発 12:25 (快速マリーン号)  
↓  
飫肥駅着 13:35  
  
日南市国際交流センター 14:00~15:30 政務調査  
小村記念館  
  
飫肥駅発 16:31 (電車)  
↓  
宮崎駅着 17:47  
↓  
ホテル 「宮崎観光ホテル」

3日目 1月31日 (金)

ホテル出発  
↓  
宮崎駅着  
  
宮崎駅発 10:31 (電車)  
↓  
田吉駅着 10:39  
  
農家直売わくわく市場 10:50~12:00 視察調査  
パーフェクト  
  
田吉駅発 12:52 (電車)  
↓  
宮崎空港着 13:01  
  
宮崎空港発 15:05 (ANA508便)  
↓  
大阪(伊丹)空港着 16:05

大阪（伊丹）空港発 17：00（ANA737便）



仙台空港着 18：10

仙台空港発 18：25



登米総合支所着 20：00

○

○